

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念や目標を会社玄関及び各部署、また各現場事務所にも掲示して共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		業務に係る法令資料を設置しており、誰でも閲覧できる状況にしている。																	16
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		定期的に開催する役員会及び社員会議内において周知徹底している。										10							16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		ISOなどに取組み、担当者を配置している。																	16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		社員に対しての教育をとおして、他社の知的財産への尊重などを浸透させることに取り組んでいる。								8.2 8.3	9								16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		総務部を中心に日頃よりの勉強を欠かさず、個人情報の取り扱いはPC内で管理することを徹底して行っている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		国、県市町村等の発注者と工事をとおして各種検査等を実施することで適切な対応につなげている。																16	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		建機販売業者とICT施工について協働し、工事の管理能力向上やCO2削減など工事現場内での環境に配慮した業務に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		事業継続計画を策定し、また行政や団体と様々な災害協定を結び、災害時には建設業として訓練や災害活動に取り組んでいる。								9		11		13.1				16	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		協会等で開催される事業承継セミナーを受講している。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		こまめに社員から聞き取りを行い、新入社員への平等な教育実施や年齢によって業務での差をつくっていないかなどの確認している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎日の朝礼を欠かさず、安全指示事項を共有し、建設業法に則った労働環境づくりを遵守している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に問わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		経験年数や所有資格に応じた賃金を設定し、社員がより働く意欲の湧く賃金形態に取り組んでいる。					5.5			8.5 8.8		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		働き方改革を学び、現場では、土日や雨天時などは現場全体で休みをとるなど、週休2日制を実践している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		従業員の特定の資格取得等に関しては金銭的な補助をしている。			4	5.5				8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		ウォーターサーバーや空気清浄機の設置など、現場環境の改善に積極的に取り組み、生産性の向上につなげている。			3					8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		総務部以外にも1名の女性を現場監督として雇用し、女性活躍社会に向けて取り組んでいる。			4.4	5.1 5.5				8.5 8.8		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		不要な接触を避けるため、参加者の縮小、WEB会議や電話打ち合わせなど会議の効率化に取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		建機メーカーから新製品のテスト運用を依頼していただき、ICT建機や3D測量の実施など、熊本県内の建設業の中でもトップクラスのICT施工に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		現場内での廃棄物の分別等に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		ガソリンや電力使用量を毎月確認し、簡易計算シートをもとに削減に取り組んでいる。							7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		各現場において、温室効果ガスの数値を集計し、重機のアイドリングストップ等を実施し排出量を減らすように実践している。		2.4					7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		現場内で出る環境に影響を与える物質等に関しては、適正な処理を行うよう徹底している。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		書類のデジタル化や再生紙の利用などに取り組んでいる。								9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		平時より会社では節水器具を利用し、現場内では、河川の水を利用するなど節水等に取り組んでいる。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コマツ製のICT油圧ショベルなど、特定特殊自動車排出ガス2014年基準をクリアしたものを使用するなどの取組を行っている。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		3010運動として、会社の交流会や忘年会等では、閉会10分前には自分の席で食事をとるなど、食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		工事現場内にグリーンウォールなどを採用し、日陰をつくって快適な現場環境づくりを行っている。											11.6 11.7	13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		会社内にも植樹を行い、森林整備に取り組んでいる。							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		海や河川等の現場において、流域内に漂流ゴミなどがあれば重機で揚げたあと、適切な廃棄を行っている。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		現場に行く際は、それぞれが車で通勤せず、数名が乗り合わせて通勤するように取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●													11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 熊野組

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		現場内で必要な検査を行い、製品の品質を確保している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		現場の仮設トイレを旧式ではなく、段差のない水洗形式のトイレを導入している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		製造する商品木材の原材料として県産原材料を積極的に使用している。		2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		建築物の柱や屋根材など木材を活かせる箇所には使用するよう取り組んでいる。							7					12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域内の有事の際のパトロールや復旧活動はもちろん、工事現場周辺での地域住民に有用なボランティア活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		社内だけでなく、各現場においてもハザードマップを作成し、また地域住民の命を守る行動をとれるように準備している。				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		社員の多数が救命資格を持ち、社長自らも消防団に所属し資格等も取得している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		会社のトップが青年会議所のSDGs委員会の副会長をしており、社内にアウトプット出来るような体制をとっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		熊本県や建設業協会などのインターンシップ要請に応じ、若い世代の経験の場となるよう取り組んでいる。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		就職者はほぼ熊本県内の方を採用し、地域で働くことの魅力を伝え、地域定着を心掛けている。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		建設業協会などにおいて、子供たち向けの稚魚の放流などに取り組んでいる。		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。